

目 次

30年度経過報告 組織、教宣、税対、賃対、住技対、社保対、青対、	1
30年度日程経過表	6
元年度運動方針（案）	11
30年度決算書	15
元年度予算（案）	21
30年度役員名簿	23
30年度中物故者組合員名簿	24

総 会 議 事 次 第

- 1、司会
- 2、開会のことば
- 3、議長団選出、書記任命、その他大会諸役員選出
- 4、物故者に対する黙祷
- 5、支部長あいさつ
- 6、執行委員長あいさつ
- 7、資格審査および選挙管理委員会報告
- 8、議事運営委員会報告
- 9、30年度経過報告および決算報告ならびに剰余金処分（案）
- 10、会計監査報告
- 11、審議
- 12、元年度運動方針（案）
- 13、元年度予算（案）
- 14、審議
- 15、役員選出
- 16、役員退任あいさつ
- 17、新役員あいさつ
- 18、議長・諸役員解任あいさつ
- 19、ガンバロー三唱
- 20、閉会のことば

平成30年度 経過報告

第37回定期総会を昨年7月に開催してから1年が経過し、本日ここに第38回定期総会を迎えることになりました。本総会は、これからの1年間の運動方針を討議・決定し目的達成に向かって全組合員が団結し、行動するための意志統一をすため開催するものであります。

建設業界では一部仕事の回復が見られますが賃金の上昇はみられません。このような状況の中で、組合のメリットを活用した年2回の拡大運動の取り組み、宣伝カーの活用など、分会・支部の組合員、役員、職員が厳しい拡大状況のなか奮闘し、春の拡大月間中は本部割当39名に対して、33名の加入者がありました。しかし、1年を通して脱退者、除籍者が104名と加入者の86名を上回り、昨年5月末の組織数を18名下回る1,737名で30年度を終えました。

地元国会議員に対し、建設国保の予算確保・消費税増税反対・建設国保の育成強化を求める要請行動をしました。

「震災復興、国民の安全・安心の実現へ建設産業の再生を求める国会請願署名」「建設アスベスト被害の全面解決を求める要請署名」「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の見直しを求める要請署名」、建設国保の予算要求ハガキ運動などに取り組んできました。

アスベスト問題については、組合員本人及び家族の立場にたって本部とともに

取り組んできました。

この1年間の運動、行動を支えていただいた組合員、ご家族の皆さん、そして先頭にたってご奮闘された役員のみなさんに心から敬意を表し運動の経過と総括を報告いたします。

組 織 部

1. 組織部会を年5回開催しました。
1. 支部組織の充実強化に向けて、支部・分会活動者会議を3月17日に開催しました。
1. 支部の拡大行動で具体的な活動をするために、推進委員会を9月22日と2月25日の2回開催しました。特に9月22日の推進委員会では推進委員メンバーでできることとして、10月7日（日）に有志で宣伝物をもって、南武庫地域を回りました。
1. 組合員宅の訪問を春の拡大月間中に実施し、組合員とのコミュニケーションを図りました。
1. 支部組織強化のため、2月12日に専門部長会議を支部五役も含めて11名の参加で行いました。
会議の中で、近年のマンションや事業所を含む家庭訪問の難しさが議論されましたが、ハガキ要請行動の訪問も含め継続審議となりました。
1. 本年も組織の拡大に向けて、ホーム

ズ尼崎店、現場訪問などで宣伝物の配布及びその他諸行動に取り組みました。

今年度、3名以上拡大し組織拡大に貢献された方々は次の4名です。又、支部及び分会役員として長年その責務につとめ支部発展のためにご尽力いただいた次の3名の方に感謝状を贈呈して感謝の意を表します。

平成30年度拡大功労者

(H30. 6～R 1. 5加入分)

氏名	分会
小林 健太郎	立花南
吉岡 秀之	大庄
峰 竜也	園田東
柳川 伸也	伊丹南

(敬称略)

役員表彰者

氏名	分会
鈴木 實	小田南
本田 祐貴	武庫
尾本 拓也	武庫

(敬称略)

教 宣 部

1. 支部機関紙の発行回数は、新年号・健診号外を含めて9回でした。そのたびごとに企画編集会議を開きました。
1. 機関紙の内容は、支部・分会・専門部等の行事や活動記事、保険証交換

学習会・税金申告相談会・レクリエーション・イベント等の連絡事項や、組合員及び御家族からの寄稿も掲載しました。又、労災防止・交通事故防止・健康問題なども取り上げました。

1. 新しい組合員を増やすため、拡大行動があります。支部・分会幹事の意欲、行動にも限界があり、拡大の重要性を組合員一人ひとりに機関紙で訴え、協力を要請しました。
1. 10月21日に行われた本部主催の教宣学習会に、実力をつけるため部員2名が参加し、読みたいと思わせる見出しのつけ方、効果的な写真の撮り方を学び、機関誌作成、技術の向上に努めました。
1. 12月9日に支部教宣学習会を開催し、7名が参加しました。
1. 一般組合員及び御家族の寄稿には、謝礼をしました。

税 対 部

1. 1月21日、税金決算記帳講習会を開催し、24名の出席がありました。
1. 2月8日の部会で支部担当者の税金申告対策会議を行いました。
1. 2月20・21日女性センタートレピエ、2月26日伊丹スワンホール、3月7・8日尼崎市中小企業センターにおいて税金申告相談を5回行い、合わせて119名の参加がありました。

賃 対 部

1. 1月16日に本部で行われた支部本部合同賃対部会に支部より1名が参加しました。
1. 2月1日に行われた県連賃金討論集會に支部より1名が参加しました。
1. 3・25統一行動日には13名が参加し、西宮分会の鳴尾地域を中心に3月30日に賃金パンフ・組織拡大パンフ・ポケットティッシュ等2,500部配布活動を実施し、組織拡大にも協力しました。
1. 賃対部会を4回開催しました。
1. 賃金アンケートに取り組み生活の向上を目指しました。
1. 公契約条例に賃金条項をいれる運動を本部及び各諸団体と共に取組んできました。

住 技 対 部

1. 部会を3回開催しました。
1. 支部本部合同住技対部会に参加し、他の支部との交流を深めました。
1. 技能講習会の参加者は2名でした。
1. 尼崎市の潮江なつフェスに小田北分会と合同で参加して、住宅相談を行いました。イス作り体験を行い、職人技をアピールしました。
1. 奉仕活動の依頼はありませんでした。
1. 社会見学会は25名の参加で、和歌山の津波防災教育センターに行きました。

社 保 対 部

1. 建設国保の保険料が少しでも負担が少なくなるように組合でも全建総連中央決起大会参加及び請願書・ハガキ要請行動などを通じて努力してきました。
1. 新加入者集會を原則毎月2日に実施し、新加入者に対する組合活動や建設国保に対する認識及び、保険料等の納付についての説明を行い滞納のないように努めてきました。又未加入者の紹介のよびかけもあわせて、新加入者アンケートに協力していただきました。
1. 保険証の有効期限が11月30日までのため、11月度に20会場で、分会役員が主体となり保険証交換学習会を実施しました。そのなかで補助金現行水準獲得のための財務省への要請ハガキ行動に取り組みました。
又、要請ハガキ行動は厚生労働省にむけても取り組みました。
1. 保険証交換学習会を分会役員が主体で行いますので建設国保、その他の資料説明に対する支部役員の学習会を実施してきました。
1. 保険料・介護保険料滞納対策については、毎月幹事会で分会単位で対応しましたが、滞納がない状況にすることは出来ませんでした。
1. 3月31日、講師をまねいて健康教室を開催し、21名が参加しました。
1. 建設業退職金共済制度加入者数は、

令和元年5月現在で213件です。新加入者集会にて、加入をすすめてきました。建退共の掛金は平成15年10月より1日310円となり、一人親方は1ヶ月23日、事業所は25日として統一しています。事務費として1ヶ月30円を徴収しています。

1. 労働保険事務組合総会を6月2日に開催しました。

青 対 部

1. 青年部の活動を支援するため、毎月開催される青年部幹事会に出席し指導してきました。
1. 7月9日青年層の家庭訪問をしました。
1. 青年部の機関紙の作成に協力してきました。
1. 2月10日開催のもちつき大会に40名参加し交流を深めました。
1. コスモスの会の幹事会に出席し、活動に助言や協力をしました。
1. 3月10日に行われたコスモスの会のカルチャースクールに参加し交流を深めました。

財政について

1. 平成30年度収支決算書（別紙の通り）
1. 平成30年度決算において、剰余金が出たので別紙のとおり処分します。